

## 2023年8月1日 長崎大学 高校生公開講座

長崎大学では長崎県教育委員会と連携し、大学の高度な教育・研究に触れる機会や学部選択に関する情報を長崎県内の高校に提供する「高大連携事業」を行っています。

今回は、長崎大学が高校生向けに開講する後悔講座やオープンラボに高校生が応募する形で行う企画で、「プレパパ・プレママ教室」を実施、6名の高校生が参加しました。

=====

遺伝看護・遺伝カウンセリングコース2年の高橋・富嶋です。

8月1日に長崎大学オープンラボで県内の高校生にプレパパ・プレママ教室を実施しました。今回は医学科や保健学科に興味を持った男女6名が参加してくれました。少人数での開催となりましたが、一人ひとりの発表をしっかりと聞き、ディスカッションができました。

NIPTを受ける条件として、NIPTを無料で受検ができ、年齢や子どもの病気の有無に関係なく、また21トリソミーが分かるとしました。実際の臨床の場合では、NIPTを受検して陽性であった場合は、そのまま確定検査である羊水検査を受検することになります。今回は、講義なのでNIPTと羊水検査それぞれで受検するか、しないかの選択をしてもらいました。

NIPTと羊水検査を受検するか、しないか、なぜその選択をしたのかについて、それぞれの意見を聞き、最終的に意思決定をします。NIPTについては、受検を選択した人、しなかった人もいました。しかし、羊水検査は、皆さん受検しないということを選択されました。「羊水検査で起こる破水や流産のリスクや針を刺すことが怖い」「NIPTの陽性的中率97.3%なので出産に向けての心の準備、赤ちゃんを迎える準備の時間にしたい」など自分自身でしっかり考え意思決定することができており、その意見を聞いている私たちがとても勉強になりました。

最初は、緊張していた皆さんでしたが、次第に表情が柔らかくなり、新生児の人形を抱っこしている時は、笑顔がみられていました。私たち2人も、今回は参加している皆さんの表情を見ながら、また、交流しながら講義ができたのではないかと思います。

貴重な機会をありがとうございました。

